

橋本市長の政治信条1筋からの民主主義、 豊後大野市は一つという真意は

市民との対話が最も重要な手法

質

清川中学校は、地域に根ざした特徴ある運営がされてきたが、閉校にあたり地域に対する配慮が足りなかったのでは。

答 教育長

指摘された配慮の足りなかつた反省する点はありませんが、決して地域を軽視したわけではありません。

質

地域担当者制度は、本来の目的に沿った組織機能がなされていないのでは。

答 市長

現状の把握を行い、全職員を対象とした再編で充実に努めていきたいと考えています。

質

豊後大野市は一つという思いは、全ての市民の願いである。合併時の七つで一つの精神を持つべきでは。

答 市長

合併後、一体感の醸成に市民の皆さまと一緒に努めてきました。七つで一つの考えを持ちつつ、一体感の醸成に努めていきます。



おのゆうじ
小野 勇 治



清川中学校周辺

ジオパーク認定の 取り組みと今後の方針は

～協働によるまちづくりの一環として推進～

質

おおいた豊後大野ジオパークのブランドの中心は。

答 商工観光課長

中心となるものは、9年前の阿蘇4火砕流※1ですが、主役となるのは、市民の皆さまお一人お一人であると考えています。

質

経済の活性化にどう結び付けるのか。

答 商工観光課長

市民が意識を変えながら、我が豊後大野市の価値を見出してもらうことが、地域経済の活性化の近道となります。

※1 阿蘇4火砕流=阿蘇山の4回目の大規模な火砕流の噴出。

ろうきゅうか
**施設の老朽化に
 対する取り組みの現状は**

～市として強く要望～



ひろまさ とうへい
宏 正 藤 衛

質

畑総、畑かんの施設整備から30年以上経過し、施設の老朽化が目立っている。ストックマネジメント（長寿命化）の必要があるが、その取り組みは。また、農業情勢の厳しい高齢化の中、事業実施に伴う地元負担金を市としては、どう考えているのか。

答
 市長

整備後25年から45年を経過しており、老朽化による漏水などの事故が近年、頻繁に発生している状況にあります。

大野原地区の基幹水路については、平成26年度から県営基幹水利ストックマネジメント事業で対策工事に着手する予定です。

支線の水路については、県営中山間地域総合整備事業豊後大野西部地区で平成25年度に対策工事に着手し、随時実施していきます。

なお、安倍総理来県時に、県内の市町村長および議長との意見交換会で、農業後継者の育成や適用条件の緩和、水路の改修、鳥獣被害対策、ハンターの育成などを強く要望しました。

また、事業費から国の補助金を控除した額の2分の1を市が補助金として交付しています。



県営かんがい排水事業第3号幹線 堤田水管橋

地域の声を生かせ

～効率的な交通体系を整備～

質

地域の方々にとって重要な足となっているコミュニティバスの要望や意見を、どのように集約したのか。

答
 まちづくり推進課長

現在は、平成26年4月の本格運行に向けた実証運行期間中であるので、現在行っている乗降調査による利用実績や、自治委員を通じた運行改善の要望、昨年度、地域公共交通会議にて定めました指標を活用した見直しなど、今後、市民の皆さまにとって効率的が必要とされる市内の交通体系を整備していきたいと考えています。

※その他の質問
 ・公共事業について